



福島県特別支援学校

体育連盟だより



令和2年2月 発行

福島県特別支援学校
体育連盟 事務局
(福島県立あぶくま支援学校内)
福島県郡山市中田町赤沼
字杉並139番地

特別支援学校スポーツ大会を振り返って

特別支援学校体育連盟会長 上 妻 弘
あぶくま支援学校校長



特別支援学校スポーツ大会は今年18回目を数えました。本大会は現在、陸上、サッカー、バスケットボール、フライングディスク、ポッチャの5種目で競技していますが、各会場とも選手たちの熱気と緊張感が伝わってきました。また、その選手を見守る保護者や関係者の温かい眼差しと大きな声援が選手たちを後押ししている様子を感じ取ることができました。回を重ねるごとに、参加する選手たちの競技に関する知識理解が深まり、技能(スキル)が向上してきました。これは、日頃学校の部活動での継続的な練習や休日等を利用して外部団体での練習等をおこなって、積み上げてきた結果であると思いますが、そこに選手一人一人のスポーツに対する強い思いと指導に当たる指導者の熱い思いがなければ、成り立たないもののだとも考えます。

また、大会を成功させるには、選手や指導者の他に、役員やスタッフが組織的にそして機能的に活動することが必要不可欠です。選手がより良い環境の中で試合に集中できるように、計画立案の段階から綿密な連絡調整を行い、一人一人が自分の役割に徹するとともに、時には周囲と連携協力しながら、大会運営に当たらなければ、大会は成り立ちません。本大会では、年ごとに役員や多くのボランティアを含めたスタッフが、積み重ねた経験をもとに円滑に対応する姿が随所で見ることができ、選手ファーストの大会運営ができましたことに感謝申し上げます。

県内において障がい者のスポーツ大会は限られており、特別支援学校体育連盟が主催する大会は年一回本大会のみです。選手の移動や引率等を考えますと、やむを得ないところもありますが、それだけに本大会に臨む選手の意気込みは一層強いものになると思われます。同じスポーツに取り組んでいる仲間が一堂に会して競い合い、称え合うことで、自分や自分の所属するチームにはないものを相手から受け取ることができ、自己理解や他者理解が深まります。その結果、さらに自己を磨き鍛えることにつながるのだと考えます。

生徒たちのQOLを高め生涯スポーツにつながる特別支援学校スポーツ大会を今後とも充実発展させることが連盟の役割であると認識し、鋭意努力して参ります。ここまで本大会の充実発展に寄与いただいた多くの選手、指導者、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

第18回福島県特別支援学校スポーツ大会総評

第18回特別支援学校スポーツ大会実行委員長 須田 康 仁
福島県立視覚支援学校校長



今回、3校(視覚支援学校、市立福島養護学校、福島大学附属特別支援学校)が大会幹事校として大会の準備及び運営を担当しました。3校合同幹事校という形式は初めての試みであったため、当初は仕事の分担や連絡等がうまく進まなかったこともありましたが、事務局や各校担当と話し合いを継続し協力しながら進めた結果、後半及び本番はスムーズに運営できホッと胸をなでおろしました。

まず本大会について参加人数等からみると、各競技への参加申込み生徒数が522名、大会役員、ボランティアを含めた総参加者数は約850名と、ほぼ例年と同程度のエントリー数となりました。大会は例年通り5競技が実施され、それぞれの選手たちが日頃の練習の成果を十分に発揮し、各競技に取り組んでいました。陸上競技4×100mリレーで「あぶくま支援学校」が4連覇を成し遂げた一方、学校創立3年目で、たむら支援学校が初の優勝(フライングディスク競技・団体)を果たすことができました。生徒と指導者が「ONE TEAM」となり練習を継続してきた結果が、これらの素晴らしい成績に繋がったのだと感じました。

大会の運営面につきましては、従前どおり実施方法や内容を検討・確認するとともに、前日の会場作成と当日の大会運営など、概ね計画どおりに進めることができました。また、ボランティアにつきましても、例年ご参加をいただいている東邦銀行、福島銀行、福島トヨペット、東北福祉大学、福島大学、福島学院大学、福島東高等学校の皆様ほか、今回は障がい者フライングディスク協会、障がい者スポーツ指導員協議会県北支部など新たな団体にもお手伝いいただきました。

今年度は、ラグビーW杯2019で日本中が大いに盛り上がりました。ラグビーのわかファンが増えた中で、今年のオリパラに向けてスポーツに対する関心がさらに高まることを祈っています。そして、障がいのある生徒のライフステージを通じた活動の一つとして、スポーツに対する情熱がさらに高まるよう、校長会としても特別支援学校スポーツ大会を今後もさらに充実させていきたいと考えております。

結びに、各競技の大会運営を行った役員並びにボランティアの皆様、その他関係者の皆様方に深甚なる謝意を表します。

第18回 福島県特別支援学校 スポーツ大会

優勝チーム紹介

バスケットボール男子



会津支援学校

鈴木 護

私がバスケットボール部で学んだことは、ルールだけでなく楽しくやることの大切さです。自分の限界だと思いうこともありました。自分たちで休み時間も練習を重ね大会2連覇を達成することができました。みんなでチームを支え合いながら3年間バスケットボールができて良かったです。私はこの会津支援学校バスケットボール部に入って本当に良かったです。

バスケットボール女子



大笹生支援学校

齋藤 真由

3連覇するというプレッシャーがある中、私たちは声を掛けあいながら最後の一秒まで諦めずにボールを追いかけてきました。苦しく、辛い時もありましたが、チームの皆が声を掛け、応援してくれたおかげで頑張ることができました。このチームで優勝できて、そして3連覇をすることができてとても嬉しいです。

フライングディスク



たむら支援学校

坪井 皓紀

今年のフライングディスク競技団体戦では、私達たむら支援 A チームが初優勝することができました。優勝できたのは、練習で共に鍛え、共に熱い声援を送り、チームとして支えあってきた仲間のおかげです。団体戦で初優勝できたことは、とても嬉しいことでした。来年のスポーツ大会でも、優勝できるよう後輩達に頑張ってもらいたいと思います。

ボッチャ



須賀川支援学校

薄井 亮太

去年は負けてしまい、メダルがとれず落ち込んだこともありましたが、今年は夏休みも休まずに練習を続けました。決勝戦はファイナルショットとなり緊張しましたが、自分の思う所にボールを投げることができました。これは、教えていただいた先生方や一緒に頑張ってきた仲間たちのおかげです。来年も優勝目指して頑張ります。

陸上競技(4×100m)リレー



あぶくま支援学校

鈴木 健汰

今年のスポーツ大会でリレーのメンバーとして優勝することができて、とても嬉しかったです。最初はバトンパスがうまくいきませんでした。繰り返し練習を行い、うまく息が合い、大会記録を更新することができました。高校最後の大会でよい結果を残せ、メンバーや協力していただいた先生方に感謝しています。

サッカー



あぶくま支援学校

遠藤 翔真

私たちあぶくま支援学校サッカー部 A チームは、大会で優勝することができました。決勝戦では PK 戦の末に勝利することができました。サッカーを教えてくださった先生方に恩返しすることができ、嬉しかったです。

来年も優勝できるよう、後輩たちには練習を頑張ってもらいたいです。

大会への御後援・御協賛・御協力、ありがとうございました。

御後援：福島県 公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会 福島県特別支援教育振興会 公益財団法人日本教育公務員弘済会福島支部
 一般財団法人福島陸上競技協会 福島パラ陸上競技協会 一般社団法人福島県バスケットボール協会
 一般財団法人福島県サッカー協会 福島県障がい者フライングディスク協会 福島県ボッチャ協会
 福島県FIDバスケットボール連盟 福島管公学生服株式会社 スガワラスポーツ
 AIG損害保険株式会社代理店(株)ジェイアイシー南東北支店 福島民報社 福島民友新聞社 福島テレビ 福島中央テレビ
 御協賛：ダイハツまつかわ 大塚製薬株式会社
 御協力：東邦銀行 福島銀行 福島トヨペット 東北福祉大学 福島大学 福島学院大学 福島東高等学校
 福島県障がい者フライングディスク協会 福島県障がい者スポーツ指導員協議会県北支部

団体戦の結果

バスケットボール競技 男子

- 第1位 会津支援学校
- 第2位 あぶくま支援学校
- 第3位 大笹生支援学校

バスケットボール競技 女子

- 第1位 大笹生支援学校
- 第2位 あぶくま支援学校
- 第3位 石川支援学校

フライングディスク競技

- 第1位 たむら支援学校 A
- 第2位 会津支援学校 A
- 第3位 福島養護学校

ポッチャ競技

- 第1位 須賀川支援学校 A
- 第2位 西郷支援学校 A
- 第3位 西郷支援学校 B
いわき支援学校 A

陸上競技 (学校対抗 4×100m リレー)

- 第1位 あぶくま支援学校 A
- 第2位 西郷支援学校
- 第3位 須賀川支援学校 A

サッカー競技

- 第1位 あぶくま支援学校 A
- 第2位 石川支援学校
- 第3位 西郷支援学校



第18回 福島県特別支援学校スポーツ大会



標語・ポスターデザイン表彰者

標語の部

- 〈大賞〉 いわき支援学校
1年 森谷 拓海
- 〈優秀賞〉 須賀川支援学校
2年 渡辺 結愛
- たむら支援学校
2年 佐久間優也
- いわき支援学校
1年 渡部 勝人

ポスターデザインの部

- 〈大賞〉 大笹生支援学校
2年 新田 愁夜
- 〈優秀賞〉 須賀川支援学校
2年 藤田 涼平
- 須賀川支援学校
2年 熊谷 真路
- 須賀川支援学校
3年 横山勇太郎

協賛品の贈呈

今年度も、福島市のダイハツまつかわ様よりスポーツ大会で、個人競技入賞者へ贈られる金・銀・銅メダルと団体競技入賞者へ贈られる盾を、大塚製薬株式会社様より参加選手の参加賞として、スポーツ飲料と栄養補助食品を協賛していただき、視覚支援学校で行われた贈呈式において、須田康仁大会実行委員長に贈呈していただきました。

ダイハツまつかわ様並びに大塚製薬株式会社様の温かいお心遣いに感謝し、厚くお礼申し上げます。



第18回 福島県特別支援学校スポーツ大会表彰者

福島県特別支援学校体育連盟職員表彰
福島県特別支援学校体育連盟生徒表彰

功 勞 賞
優 秀 選 手 賞

西郷支援学校
石川支援学校卒
石川支援学校卒
平支援学校卒

坂本 公司
村岡 愛
鈴木鯉太郎
遠藤 幸
小玉 直明

調査研究部

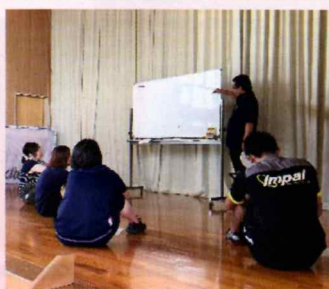
指導者講習会・スポーツ教室について

8月7日(水)に、フライングディスク競技と陸上競技の「指導者講習会・スポーツ教室」を開催しました。会場となった猪苗代支援学校、あぶくま支援学校には計40名の参加者が集まりました。参加した先生方は、具体的な審判法や指導方法について学び、選手の皆さんは、専門的な技術練習を体験するなど、充実した講習会となりました。

陸上競技教室 (あぶくま支援学校)



フライングディスク競技教室 (猪苗代支援学校)



● 第19回全国障害者スポーツ大会 いきいき茨城ゆめ大会2019 出場選手 ●

陸上競技		
選手氏名	種目	学校名
西戸湖乃華 選手	ソフトボール投げ	聴覚支援学校
	砲丸投げ	
小瀧 史南 選手	砲丸投げ	聴覚支援学校
	ソフトボール投げ	
西村 美咲 選手	スラローム	平支援学校
	50m	
渡邊あづは 選手	100m	あぶくま支援学校
	200m	
青田 来希 選手	200m	相馬支援学校
	400m	
佐藤 桃花 選手	100m	あぶくま支援学校
	200m	
小林 歩叶 選手	ジャベリックスロー	会津支援学校
	100m	

フライングディスク競技		
選手氏名	種目	学校名
高橋 諒平 選手	アキュラシーディスリート5 ディスタンスメンズ・スタンディング	郡山支援学校
渡辺 尚弥 選手	アキュラシーディスリート5 ディスタンスメンズ・スタンディング	聴覚支援学校
佐藤 大葵 選手	アキュラシーディスリート5 ディスタンスメンズ・スタンディング	福島大学附属特別支援学校
星 勇太 選手	アキュラシーディスリート5 ディスタンスメンズ・スタンディング	あぶくま支援学校
上妻 寿之 選手	アキュラシーディスリート7 ディスタンスメンズ・スタンディング	あぶくま支援学校
真船 健 選手	アキュラシーディスリート5 ディスタンスメンズ・スタンディング	西郷支援学校
渡辺 想星 選手	アキュラシーディスリート5 ディスタンスメンズ・スタンディング	石川支援学校 たまかわ校

水泳競技		
選手氏名	種目	学校名
佐藤 駿弥 選手	50m平泳ぎ	福島大学附属特別支援学校
	50mバタフライ	

卓球競技		
選手氏名	種目	学校名
菊地 未来 選手	一般卓球	福島大学附属特別支援学校

※福島県内の特別支援学校より上記の選手が出場予定でしたが、台風19号の接近に伴い、大会は全日程中止となりました。



福島県特別支援学校体育連盟ホームページのお知らせ

当ホームページは下記URLよりご覧いただけます。このホームページでは、当連盟の様々な活動やスポーツ大会の様子などについての情報を伝えておりますので、ぜひご覧いただけますようお願い申し上げます。

福島県特別支援学校体育連盟ホームページURL ▶ <https://abukuma-sh.fcs.ed.jp/>